

(様式4)

◆ 齋藤 ひろみ

<所属・職名>

東京学芸大学 教育学部 日本語日本文学研究講座 教授

<略歴>

小・中学校の教諭として教壇に立ったのち、中国での生活を経験。

帰国後、民間の日本語学校で日本語教師として働き始める。

中国帰国者定着促進センターにおいて、小中学生対象の日本語教育に取り組む。東京学芸大学国際教育センターにて、国内の外国人児童生徒教育に関する研究・調査活動を本格化。

同大学教育学部に所属し、教員養成課程や現職教員対象の研修で「多文化教員」の育成・養成に取り組む。現在、同大学教職大学院の専任教員として、教師教育に従事。2021年6月～2023年5月、公益社団法人日本語教育学会会長を務める。

<これまでの研究活動、外国人児童生徒等教育に関する経験など>

文化間移動をする子どもたちのライフコースを伴走するような教育・支援のあり方を探るために、日本語教育の方法、特に「内容（教科等）と日本語の統合学習」の実践とその成果について、現場を巡りながら検討を重ねている。また、日本生まれの子どもたちのリテラシーの発達について、作文の分析を通して、多面的に捉えるために調査研究を重ねてきた。現場の先生方との関わりとしては、日本語指導担当・外国人児童生徒担当教員・支援員の方の研修会で、文化間を移動する子どもたちの理解、ことばの発達状態の分析、それに基づいた、日本語指導・教科と日本語の統合学習、異文化適応支援、キャリア教育に関する実践について、具体手な事例をもとに検討し、そして教師としての力量形成について考えている。

- ・2012年より編集長として、「言語教育実践イマ×ココ」（ココ出版）発行。現在編集員として第10号を編集集中。
- ・2016年より「子どもの日本語教育研究会」を立ち上げ事務局長として運営。年間2回の実践・研究の交流のためのワークショップあるいは研究会、大会を開催。2018年度よりジャーナル発行。
<https://www.kodomo-no-nihongo.com/>
- ・2023年度 NITS 独立行政法人教職員支援機構「外国人児童生徒棟への日本語指導指導者養成研修」において、コーディネータとしてカリキュラム検討、研修内容のプログラム化に関わる。
- ・2023年度 東京都教育庁『外国人児童・生徒等のための日本語指導推進ガイドライン』を監修。

【著書】

- ・齋藤ひろみ(2022)「第5章 教科学習と日本語学習をつなぐ」西川朋美編『外国につながる子どもの日本語教育』くろしお出版
- ・異文化間教育学会編著(2022)『異文化間教育学事典』明石書店(編者として編集・執筆)
- ・齋藤ひろみ編著『外国人の子どもへの学習支援』金子書房
- ・齋藤ひろみ(監修)・板谷ひさこ(著)(2022)『6カ国語のわくわく絵ずかん 学校のことば アジア編/ヨーロッパ編』ほるぷ出版
- ・齋藤ひろみ・人見泰弘(2018)「外国人の子どもたちの言語・文化の継承」石井正己編『世界の教科書に見る昔話』三弥井書店
- ・小島勝・白土悟・齋藤ひろみ編著(2016)『異文化間に学ぶ「ひと」の教育(異文化間教育学大系 第1巻)』明石書店
- ・齋藤ひろみ・池上摩希子・近田由紀子(2015)『外国人児童生徒の学びを創る授業実践―「ことばと教科の力」を育む浜松の取り組み』凡人社
- ・齋藤ひろみ・今澤悌・花島健司・内田紀子(2011)『外国人児童生徒のための支援ガイドブック―子どもたちのライフコースによりそって』凡人社
- ・齋藤ひろみ・佐藤郡衛(2009)『文化間移動をする子どもの学び―教育コミュニティの創造に向けて』ひつじ書房

(様式4)

- ・川上郁雄・石井恵理子・池上摩希子・齋藤ひろみ・野山広 (2009) 『「移動する子どもたち」のことばの教育を想像する』 ココ出版
- ・齋藤ひろみ (2005) 『外国人児童生徒の「教科と日本語」シリーズ 小学校「JSL 社会科」の授業づくり』 スリーエーネットワーク

<対応可能学校種>

小・中・高等学校

<遠隔での指導助言> ※いずれかの□にチェックを記入してください。

対応可 対応不可

<その他(国等の委員歴等)>

- ・学校における JSL カリキュラムの開発にかかる協力者会議本部会議委員・社会科部会とりまとめ
- ・『外国人児童生徒の受け入れの手引き』作成協力者
- ・「外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント DLA」研究推進委員
- ・文部科学省「外国人児童生徒等教育を担う教員の養成・研修モデルプログラム開発事業」2017～2019 年度(公益社団法人日本語教育学会受託) 調査研究本部代表として、資質能力モデル「豆の木モデル」、養成・研修モデルプログラムを開発
- ・文部科学省「高等学校における日本語指導体制整備事業」2021～2022 年度(東京学芸大学受託) の企画開発会議座長として、調査の実施、ウェブサイト構築、『高等学校における外国人生徒等の受入の手引』『高等学校における日本語指導・学習支援ガイドブック』を編集。
- ・文化庁「日本語教育人材のための研修プログラム普及事業 児童生徒に対する日本語教師【初任】研修」2020～2023 年度、「現職日本語教師の研修プログラム普及事業 児童生徒に対する日本語教師【初任】研修」2024 年(公益社団法人日本語教育学会受託) 日本語運営委員長として、研修プログラム・動画教材・ハンドブックの開発、ウェブサイト構築に関わり、研修を実施。
- ・文部科学省「高等学校における日本語指導体制の充実に関する調査研究」2023 年度(東京学芸大学受託) 企画開発会議委員長・調査部会部会長として、年間8回の「特別の教育課程」による日本語指導に関する研修、先進校視察調査の実施。
- ・文部科学省補助事業「新たな教師の学び」に対応したオンライン研修コンテンツ開発事業」2023 年度(東京学芸大学) コンテンツ「外国人児童生徒等の日本語指導」を開発。

<関連URL>

- ・子どもの日本語教育研究会 <https://www.u-gakugei.ac.jp/~knihongo/>
- ・言語教育実践『イマ×ココ』 <https://www.cocopb.com/imacoco/home.html>
- ・文部科学省委託事業「外国人児童生徒等教育を担う教員の養成・研修モデルプログラム事業」
<https://mo-mo-pro.com/>
- ・文部科学省委託事業「高等学校における日本語指導体制整備事業」
<https://www.u-gakugei.ac.jp/~knihongo/>
- ・令和4年度 日本語教育人材の研修プログラム普及事業児童生徒等に対する日本語教師【初任】研修公式ウェブサイト『ひまわり』<https://himawari-jle.com/>
- ・公益社団法人 日本語教育学会 <http://www.nkg.or.jp/>